

「プログラムのたて方」「会議のもち方」

「新聞のつくり方」

② 実 技 (技術・実習)

「ゲーム」「スポーツ活動」「クラフト」

「野外活動」「奉仕活動」

(5) 講師・助言者

地域の少年団体活動の事情に詳しい学識経験者、少年教育関係施設職員、青少年教育実技指導者研修会修了者、少年団体成人指導者研修修了者

### 〈成人指導者研修〉

(1) 目 的

青少年の社会参加の重要性の認識に立ち、地域子ども会の実践的活動が期待されている。その指導者として運営にかかわる知識・技術を研修し、指導者としての資質の向上と指導者層の拡大をはかることを目的とする。

(2) 期日、会場、参加者数

① 期 日 昭和56年7月15日～7月17日

② 会 場 福島県会津少年自然の家

③ 参加者数 30名

子ども会等少年団体の成人指導者並びに育成組織関係者、少年教育行政担当者、公民館・少年教育施設等職員。

(3) 講師、助言者

① 講 師

福島市体育指導員 永 沢 悦

福島県立須賀川養護学校郡山分校長堀 川 清 通

福島県会津少年自然の家所長 浅 沼 恒 昭

② 助 言 者

県教育庁社会教育課員

県会津少年自然の家所員

(4) 内 容

① 理 論 (講義・討議・演習)

「少年団体活動の今日的意義」

「少年団体の組織と運営」

「少年団体活動のプログラミング」

「集いの企画とそのポイント」

② 実 技 (実習)

「少年団体におけるゲーム・ソング」

「野外活動 (自然観察他)」

「キャンプファイヤー」

## 4 少年教室補助事業

### (「ふるさとづくり少年教室」運営費補助)

(1) 目 的

少年 (小・中学生、以下同じ) が、よりよい地域づくりのために、身近な奉仕活動を通して、地域の成員としての自覚を高めるため、市町村が実施する少年教育事業「ふるさとづくり少年教室」の開設運営の円滑化を図るため、経費の一部を補助する。

### (2) 開設市町村、教室名、場所

管 内	開 設 市 町 村	教 室 名	場 所
県 北	白 沢 村	白沢村ふるさとづくり少年教室	白沢村公民館
県 中	長 沼 町	長沼町ふるさとづくり少年教室	長沼町公民館
県 南	棚 倉 町	棚倉町ふるさとづくり少年教室	棚倉町中央公民館
会 津	北会津村	北会津村ふるさとづくり少年教室	北会津村公民館
南会津	田 島 町	田島町ふるさとづくり少年教室	田島町野活動センター
相 双	相 馬 市	日立木ふるさとづくり少年教室	相馬市日立木公民館
いわき	いわき市	四倉地区ふるさとづくり少年教室	いわき市四倉公民館

### (3) 内 容

① 主 題

少年の自主性、連帯意識を育てるため、地域理解、奉仕活動、集団活動を中心とした計画的学習の展開について。

② 対 象

小学校5年生～中学校2年生

③ 期間、人員、時間数 (原則 20人以上、20時間以上)

市町村	開 設 期 間	人 員	時間数
白 沢 村	昭和56年5月 ～昭和57年1月	小学校5・6年生	35時間
長 沼 町	昭和56年6月 ～昭和56年11月	小学校5・6年生	24時間
棚 倉 町	昭和56年5月 ～昭和57年1月	小学校5年生～中学校2年生	97時間
北会津村	昭和56年6月 ～昭和57年2月	小学校5・6年生	30時間
田 島 町	昭和56年6月 ～昭和56年12月	小学校5年生～中学校2年生	46時間
相 馬 市	昭和56年5月 ～昭和57年1月	小学校5・6年生	24時間
いわき市	昭和56年5月 ～昭和57年1月	小学校4年生～中学校1年生	70時間

## 5 青年団体指導者中級研修会

(1) 趣 旨

地域における青年団体活動を推進する上で必要な知識、技術について研修し、団体内リーダーの資質向上を図り、もって本県青年団体の健全な育成に資する。

(2) 期日、会場、参加者数

(I) 6月17日(水)～19日(金) 国立磐梯青年の家 30名

(II) 9月3日(水)～5日(土) 県海浜青年の家 24名

(3) 対 象

市町村が実施する青年団体指導者研修の修了者並びに3年以上の団体活動の経験を有する者

(4) 講師、助言者

会津若松市文化福祉センター館長 渡 部 宏

保原町中央公民館事業係長 松 本 洋 二

猪苗代町教育委員会社会教育主事 星 滋

福島県青少年会館長 佐 藤 利三郎

郡山市富久山公民館長 橋 本 弘 一

須賀川市教育委員会管理係長 関 根 隆 男

福島市教育委員会社会教育主事 山 田 義 夫